



### 村山 瑞穂先生 略歴

- 1957年6月 北海道札幌市に生まれる。育ちは九州。
- 学 歴**
- 1976年4月 熊本大学教育学部中学英語科入学  
1979年8月 イリノイ州立大学留学（1980年5月まで）  
1981年3月 熊本大学教育学部中学英語科卒業  
1982年4月 青山学院大学大学院文学研究科修士課程入学  
1986年3月 青山学院大学大学院文学研究科修士課程修了  
1987年4月 青山学院大学大学院文学研究科博士課程入学  
1990年3月 青山学院大学大学院文学研究科博士課程満期退学
- 職 歴**
- 1986年4月 東京家政大学付属高等学校非常勤講師（1987年3月まで）  
1987年4月 杉野女子大学・女子短期大学非常勤講師（1990年3月まで）  
1990年4月 愛知県立大学外国語学部講師（1991年3月まで）  
1991年4月 愛知県立大学外国語学部助教授  
中京大学教養部非常勤講師（1992年3月まで）  
1997年4月 在外研究 UCLA アジア系アメリカ研究センター客員研究員（1998年3月まで）  
1999年4月 椋山女学園大学文学部非常勤講師（2003年3月まで）  
2002年4月 愛知学院大学文学部非常勤講師（2004年3月まで）  
2004年10月 愛知県立大学外国語学部教授

- 2005年4月 名古屋学院大学大学院外国語学研究科非常勤講師（～現在に至る）  
 2009年4月 愛知県立大学大学院国際文化研究科博士前期課程兼任（2023年3月まで）  
 2014年4月 名古屋学院大学大学院通信制外国語学研究科非常勤講師（～現在に至る）  
 2023年3月 愛知県立大学外国語学部を定年により退職

## 研究業績目録

### 著書（共著）

- 『アジア系アメリカ文学——記憶と創造』（アジア系アメリカ文学研究会編）  
 大阪教育図書出版 執筆箇所：261-281頁  
 「アジア系アメリカ文学におけるクィアな領域」 2001
- 『クィア批評——性愛における選択の自由』（藤森かよこ編）  
 世織書房 執筆箇所：141-183頁  
 「政治的に感じる女たち——サラ・シュルマンのニューヨーク・レズビアン小説」 2004
- 『他者・眼差し・語り——アメリカ文学再読』（吉田柚子他編）  
 南雲堂フェニックス 執筆箇所：280-305頁  
 「他者の記憶を語ること——ヒサエ・ヤマモトの「フォンタナの火事」にみる人種差別と語りのポリティックス」 2005
- 『木と水と空と——エスニックの地平から』（松本昇、横田由里、稲木妙子編）  
 金星堂 執筆箇所：29-44頁  
 「オリエンタリズムの彼方に——カレン・テイ・ヤマシタの森をめぐる二つの小説が提示するエコロジカル・ヴィジョン」 2007
- 『国家・イデオロギー・レトリック——アメリカ文学再読』（根本治監修、松崎博、米山正文編）  
 南雲堂フェニックス 執筆箇所：252-273頁  
 「『ノー・ノー・ボーイ』にナショナリズムの機制を読む——21世紀の視点から」 2009
- 共編著『アジア系アメリカ文学を学ぶ人のために』（植木照代監修、山本秀行、村山瑞穂編）  
 世界思想社 執筆箇所：340-357頁  
 「アジア系アメリカ文学にみる異人種間関係——『ポストエスニック』時代の異人種間結婚のテーマを中心に」 2011
- 『憑依する過去——アジア系アメリカ文学におけるトラウマ・記憶・再生』（小林富久子監修、石原剛、稲垣妙子、原恵理子、麻生享志、中垣恒太郎編）  
 金星堂 執筆箇所：17-30頁  
 「『祝婚歌』から『フィレンツェの庭』へ——ヒサエ・ヤマモトの短篇にみる戦争トラウマの不在と顕在」 2014

- 『ターミナル・ビギニング——アメリカの物語と言葉の力』（吉田廸子他著）  
論創社 執筆箇所：172-190頁  
「アイデンティティと階級の相克を超えて——チャンネ・リーの『ネイティヴ・スピーカー』はネオリベラル小説か」 2014
- 『私の好きなエミリ・ディキンソンの詩』（新倉俊一編）  
金星堂 執筆箇所：85-91頁  
「激しい苦しみその後 形式的な感情がやってくる」 2016
- 学術論文
- 「E. Dickinson —— 現実と永遠の狭間で」  
『論集』（青山学院大学文学研究科）第9号、45-57頁 1986
- “‘Poetry’ Sounding through Women’s Arcadia: Harriet Beecher Stowe’s *The Minister’s Wooing*”  
『杉野女子大学・杉野女子短期大学紀要』第26号、109-118頁 1988
- 「女性詩人の創造力と破壊の問題——エミリ・ディキンソンの“My Life Had Stood—a Loaded Gun—”を通して」  
『論集』（青山学院大学文学研究科）第13号、67-78頁 1989
- 「女であり詩人であること——アドリエンヌ・リッチとエミリ・ディキンソン」  
『青山学院大学文学部紀要』第31号、119-130頁 1990
- 「時計はゴロゴロ、子猫はチクタク——エミリ・ディキンソンの詩技法についての一考察」  
『論集』（青山学院大学文学研究科）第14号、81-92頁 1990
- 「“Circumference”の選択——エミリ・ディキンソンの詩学」  
『愛知県立大学外国語学部紀要』第25号、147-162頁 1993
- 「差異に開かれるレズビアン・フェミニズム——オードリ・ロードの『ザミ』を読む」  
『愛知県立大学外国語学部紀要』（言語・文学編）第27号、211-224頁 1995
- 「わたちのアンダー・ワールド——サラ・シュルマンのレズビアン探偵小説にみるパロディの政治性」  
『愛知県立大学外国語学部紀要』（言語・文学編）第29号、137-149頁 1997
- 「多文化主義をめぐる語りの戦略——Gish Jen の *Mona in the Promised Land* の場合」  
『中部アメリカ文学』第5号、15-28頁 2001
- 「ある異人種間文化交流の試み——ヒサエ・ヤマモトと『ロサンゼルス・トリビューン』」  
『愛知県立大学外国語学部紀要』（言語・文学編）第35号、127-142頁 2003
- 「平和主義者のジレンマ——ヒサエ・ヤマモトの“The High-Heeled Shoes”における性／人種差別と暴力」  
『愛知県立大学外国語学部紀要』（言語・文学編）第36号、53-70頁 2004

- “The Virgin Land Deforested: The Male-centered Perspective of Utopianism in Karen Tei Yamashita’s *Brazil Maru*”  
*ALA Journal*, No. 11. pp. 101-107. 2005
- 『『ティファニーで朝食を』の映画化にみる冷戦期アメリカの文化イデオロギー——  
 日系人 I.Y. ユニオシの改変を中心に』  
 『愛知県立大学外国語学部紀要』（言語・文学編）第39号、97-114頁 2007
- 「ジャズからヒップホップへ？——アジア系アメリカ詩のパフォーマンス」  
*ALA Journal*, No. 13. 17-26頁 2007
- 「アジア系アメリカ文学における精神分析批評の可能性」  
*ALA Journal*, No. 14. 29-36頁 2008
- 「S. I. Hayakawa と *Chicago Defender* ——第二次大戦下の異人種間共闘の行方」  
 『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』第19号、81-96頁 2018
- 翻 訳**
- L. マドックス 『リムーヴァルズ——先住民族と一九世紀アメリカ作家たち』  
 開文社 担当：139-205頁 2000
- 分担執筆**
- 『楽しく読めるアメリカ文学〈作品ガイド50〉』ミネルヴァ書房  
 『三人の女』スタイン pp. 64-65, 『アラバマ物語』リー pp. 184-185, 『チャイナ  
 タウンの女武者』キングストーン pp. 236-237. 1994
- 『楽しく読める英米詩〈作品ガイド120〉』ミネルヴァ書房  
 『ヒュー・セルウィン・モーバリ』パウンド pp. 134-135, 「わたし、グロスター  
 のマクシマスから、きみへ」オルソン pp. 184-185, 「雨」クリーリー pp.  
 204-205, 「おおいおい知れ」レヴァトフ pp. 222-223. 1996
- 学会発表**
- 「アドリエンヌ・リッチとエミリオ・ディキンソン」  
 日本アメリカ文学会第29回全国大会、10月20日於甲南大学 1990
- 「現代アメリカにおけるレズビアン・テキストを支える政治意識の行方」  
 シンポジウム「アメリカ文学とゲイ/レズビアンという思想」  
 日本アメリカ文学会第33回全国大会、10月9日於愛知学院大学 1994
- 「David Mura, *The Colors of Desire* について」  
 AALA（アジア系アメリカ文学会）第32回例会、1月11日於神戸女子大学 1997
- 「アジア系アメリカ文学の最近の動向——UCLA の Asian American Poetry Workshop に  
 参加して」  
 AALA（アジア系アメリカ文学会）第38回例会、5月9日於神戸女子大学 1998

- 「Karen Tei Yamashita の *Tropic of Orange* を読む」  
 AALA (アジア系アメリカ文学会) 第47回例会、1月11日於神戸女子大学  
 2001
- “The Trend of Studies of Asian American Literature in Japan”  
 “Words Matter”: An International Asian American Writers Symposium, at UCLA,  
 June 3. 2001
- 「ヒサエ・ヤマモトとロサンゼルス・トリビューン」  
 AALA (アジア系アメリカ文学会) 第55回例会、11月9日於神戸女子大学  
 2002
- 「他者の記憶を語る——ヒサエ・ヤマモトの“A Fire in Fontana”について」  
 AALA (アジア系アメリカ文学会) 第65回例会、11月20日於神戸女子大学  
 2004
- “On Karen Tei Yamashita’s *Brazil Maru*”  
 The 3rd FSEL Conference: Reading Landscapes—Asian American Women Writers’  
 Representations of Environmental Issues, Women’s Worlds 2005: 9th International  
 Interdisciplinary Congress on Women at Seoul Korea, June 20. 2005
- 「*Tropic of Orange* における Pacific Rim ——新たな関係性を求めて」  
 ワークショップIII Mapping 21st Century America: Place, Race, and History in Karen  
 Tei Yamashita’s *Tropic of Orange* 日本アメリカ文学会第44回全国大会、10月16  
 日於北海学園大学 2005
- 「ジャズからヒップホップへ? ——アジア系アメリカ詩のパフォーマンス」  
 シンポジウム「音楽、言葉、パフォーマンスの向こうに見えるアジア系アメリ  
 カ人の世界」第14回 AALA Forum、9月16日於グリーンヒルホテル神戸  
 2006
- “Hisaye Yamamoto, the *Los Angeles Tribune*, and the Suppression of Color in ‘The High-  
 Heeled Shoes, A Memoir’”  
 Session 29.5. In *Multiracial Context: Hisaye Yamamoto and W. E. B. Dubois*, 2007  
 Association for Asian American Studies Annual Meeting at Grand Central Hyatt, New  
 York, April 7. 2007
- 「ナショナリズムの狭間で——*No-No Boy* における母の死とセクシュアリティを中心  
 に」  
 シンポジウム「セクシュアリティと死をめぐる語り」第25回アメリカ文学会  
 中部支部大会、4月27日於中部大学センタービル 2007
- 「アジア系アメリカ文学研究における精神分析批評の可能性」  
 シンポジウム「アジア系アメリカ文学批評の新潮流」第16回 AALA Forum、9  
 月13日於共立女子大学 2008

「アジア系アメリカ文学における Interracialism —— 異人種間結婚（恋愛）のテーマを中心に」  
シンポジウム「アメリカ文学・文化表象における Interracialism —— 21世紀『アメリカ』像を展望する」司会および発表、日本アメリカ文学会第48回全国大会、10月11日於秋田大学 2009

「S・I・ハヤカワと『シカゴ・ディフェンダー』——第二次世界大戦下の異人種間共闘」多民族研究学会（MESA）第16回全国大会、7月16日於国土館大学 2011

“Reading the War Trauma in Hisaye Yamamoto’s ‘Epithalamium.’”  
International Symposium “Race and Ethnicity in American Literature and Culture: A Reconsideration” at Nagoya University, March 2013

“Language and Geography in Chang-rae Lee’s *Native Speaker*.”  
International Symposium “American Literature/ Culture in A Global Context” at Nagoya University, March 2014

「アジア系アメリカ文学とポスト・レイス」  
AALA（アジア系アメリカ文学会）第123回例会、5月14日於名古屋大学 2016

「カラー・ブラインド時代にいかに人種を語るのか——アジア系アメリカ文学の場合」  
シンポジウム「『ポスト・レイシャル』アメリカにおける『人種』」  
日本アメリカ学会第50回年次大会部会D、6月5日於東京女子大学 2016

#### 書評・映画評等

文献解題 “David Mura: *After We Lost Our Way*” *AALA Journal*, No. 3 pp. 48–51. 1996

文献解題 “Russell Charles Leong: *Phonex Eyes and Other Stories*” *AALA Journal* No. 8 pp. 65–68. 2002

映画評 ガス・ヴァン・サント監督「エレファント」（『読売新聞』（中部版）46003号17頁 2004

書評 “Yunte Huang, *Transpacific Displacement: Ethnography, Translation, and Intertextual Travel in Twentieth-Century American Literature*” 『英文學研究』 vol. LXXXII 205–208頁 2005

書評 アメリカ文学の古典を読む会編『語り明かすアメリカ古典文学12』（南雲堂）『中部アメリカ文学』第11号、27–29頁 2007

書評 山本伸、西垣磨留美、馬場聡編著『ブラック・ライブズ・スタディーズ——BLM運動を知る15のクリティカル・エッセイ』三月社（2020）、『多民族研究』第14号、103–105頁 2021

#### その他（紹介等）

“Finding Our Own Voices: UCLA Asian American Poetry Workshop” *AALA Journal* No. 5 pp. 52–54. 1998

- 海外新潮 「ハワイから届いた日系ビートのラプソディ」『英語青年』研究社、第146  
巻3号、181頁 2000
- 海外新潮 「詩は小説に優るか？」『英語青年』研究社、第146巻6号、382頁 2000
- 海外新潮 「スラム——詩のオリンピック」『英語青年』研究社、第146巻9号、583頁  
2000
- “Response to Prof. Cheung’s Keynote Lecture, ‘Interracial Dynamics in Asian American and  
African American Fiction’” *ALA Journal* No. 6. pp. 13–17. 2000
- 海外新潮 「新しい現代アメリカ詩アンソロジー」『英語青年』研究社、第146巻12号、  
789頁 2001
- 「不可解な他者の表象——ハリウッド映画にみるアジア人」学びネットあいち  
<http://www.mababi.pref.aichi.jp> 2002
- 英語詩演習 「沈黙を切る言葉——Janice Mirikitani, “Without Tongue”」『英語青年』  
研究社 第150巻第12号、742–743頁 2005
- 研究発表要旨 「「ナショナリズムの狭間で——『ノー・ノー・ボーイ』における母の  
死とセクシュアリティを中心に」シンポジウム「セクシュアリティと死をめぐ  
る語り」『中部アメリカ文学』第12号、37–41頁 2009
- 講演報告 「ダン・クワン氏によるワークショップと講演会」『共生の文化研究』No. 4.  
60–63頁 2010

#### 研究助成等

- 1993年7月 短期フルブライト・プログラムによるアメリカ研修 (Institute in  
American Studies: Twentieth-Century American Literature, 8月まで)
- 1997年4月 公立医科大学経常費等補助金助成による在外研修 (於 UCLA、翌年3  
月まで)
- 2007年4月 科学研究費補助金 (基盤研究C) 研究代表者  
「日系二世知識人とアフリカ系アメリカ新聞——異人種間共闘をめぐる  
語りの比較分析」(2011年3月まで)
- 2007年4月 アメリカ研究振興会・海外学会参加費用援助による研究発表 (2007  
Association for Asian American Studies Annual Meeting at Grand Central  
Hyatt, New York)
- 2014年1月 科学研究費委員会専門委員 (同年12月まで)

#### 所属学会

- MLA (Modern Language Association)  
AAAS (Association of Asian American Studies)  
日本アメリカ文学会  
中部支部会計 (2001年4月～2004年3月)、中部支部監査 (2004年4月～2005年3月)  
中部支部運営委員長 (2007年4月～2009年3月)

中部支部幹事 (2011年4月～2013年3月)  
中部支部編集委員 (2016年4月～2018年3月、2021年4月～2022年3月)  
中部支部編集委員長 (2022年4月～2023年3月)  
日本アメリカ学会  
日本英文学会  
中部支部編集委員 (2008年4月～2010年3月、2021年4月～2023年3月)  
アジア系アメリカ文学会 (AALA)  
中部地区代表役員 (1998年4月～現在に至る)  
多民族研究学会 (MESA)  
編集委員 (2007年4月～現在に至る)  
日本エミリオ・ディキンソン学会